

第3学年 国語科

児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞</p> <p>観点別結果の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読むこと・・・大まかな内容は掴めるが、細部について把握できていない児童もいる。 ○話すこと・聞くこと・・・何が話の中心であるか、掴めない児童もいる。 ○書くこと・・・大まかには伝えたい内容を文にできるが、段落や「」の使い方が正しくない児童が多い。 ○言語・・・文字の丁寧さに欠ける児童がいる。既習漢字が確実にかけない児童がいる。

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]</p> <p>単元や教材のめあてや児童の感想から学習課題を設定しているが、強く意識されていない。</p>	<p>[指導]</p> <p>毎時間、課題を掲示等で示す。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>新出漢字は、ワークシートに読み方、筆順、用法、作文を整理して記入できるようにする。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>学級全体やグループでの学習活動が主だが、個別指導を必要とする児童が多い。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>支援員を配置し、個別指導を行う。</p>	<p>漢字練習ノートを利用し、日常的に活動できるようにする。</p>
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>板書を正しく書き写せない児童がいる。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>まず目を示して、書き写しの指導を行う。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>毎日、音読の課題に取り組み、語彙を増やす。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>学習到達度に大きな差があり、クラスのみならず同じ教材では取り組めない児童がいる。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>教材によっては表記の方法を変えたり、他の教材に変えたりして取り組ませる。</p>	<p>週末に日記も課題に取り組み、作文力向上を目指す。</p>
<p>[評価の方法]</p> <p>観点によって評価材料の量に偏りがある。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>観点ごとの評価材料を計画し、十分な量を確保する。</p>	

<p>＜評価・修正＞</p> <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学習では全員が合格点に達するなど大きな成果があった。 ・詩や作文の題材を十分に取材し、いきいきとした表現ができた。 <p>[修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視知覚が弱く板書をノートに写すのが難しい児童の指導を工夫して行く必要がある。

第3学年 算数科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析> 観点別結果の分析 ○【思考・判断】・・・文章題になると問題の意図をつかめない児童が数人いる。 ○【技能】・・・計算技能が安定していて、既習の加減乗除がおおむね正しくできる。 ○【知識・理解】・・・時間や長さなど単位の換算を苦手とする児童や図形を構成する要素の理解が定着していない児童が多い。</p>

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定] 問題解決の過程や結果を、具体物、図、数、式などを用いて表現し伝え合う活動を行う。</p> <p>[学習形態] プレテストと児童の希望をもとに3コース展開で授業を行う。しかし自分に合ったコース選択が難しい児童も見られる。</p>	<p>[指導] 児童の経験と重ねた導入に心がけ、考えを伝え合う活動を今後も積極的に取り入れていく。</p> <p>[学習形態の工夫] 授業の様子を見ながら教師が適宜アドバイスし、単元ごとに少しずつ自分に合ったコースを選択できるようにしていく。</p>	<p>[補充的な学習指導] 繰り返し練習のできるドリル等を使って、学習内容の定着を図る。 じっくりコースの児童には、基礎的な計算力の定着を図るとともに、考えを図や式で表すことを繰り返し指導する。</p>
<p>[発問・指示・板書計画] 生活や学習に生かせるような問題の提示の仕方を工夫する。 じっくりコースの児童には、教科書の課題が終われるよう支援をする。 チャレンジコースの児童には、応用問題を用意する。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫] 電子黒板、書画カメラを有効に活用して効果的に進めていく。 習熟の度合いによって、問題の数値を変えたりして練習問題の数を調節したりする。適宜応用問題も用意しておく。</p>	<p>[発展的な学習指導] 問題づくりなど習ったことを生かして活動する場面を取り入れる。</p>
<p>[教材の活用] 半具体物、具体物の効果的な活用をすすめる。</p>	<p>[教材の工夫] 必要に応じて電子機器を取り入れ視覚的に分かりやすくする。</p>	
<p>[評価の方法] 主に、市販の評価テストを活用して評価をしている。</p>	<p>[評価の工夫] テストだけでなく、授業内での発言やノートなどの状況も積極的に把握し、総合的に評価する。</p>	

<p><評価・修正></p> <p>[評価] ・3コースの授業展開にも慣れ、自分に合ったコースを選べるようになってきた。 ・チャレンジコースとしっかりコースは教科書内容の他に、発展問題をすることで意欲的に学習に取り組めた。じっくりコースは、個々のつまづきに対応して学習することが出来た。</p> <p>[修正] ・考える力、言葉や図を使って説明する力を育てるための手立てが必要である。</p>

第3学年 社会科

児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞</p> <p>観点別結果の分析</p> <p>○【思考・判断】…具体物や具体的な資料を読み取ることはできる。</p> <p>○【技能・表現】…作業は理解できるが、詳しく文で表現したり、丁寧に作業したりすることができない児童がいる。</p> <p>○【知識・理解】…概ね理解できているが、学習内容の定着に差がある。</p>

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]</p> <p>身近に具体的な課題に合った観察対象がないことがある。</p>	<p>[指導]</p> <p>映像資料等を活用する。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>地図記号の復習をし、地図の読み取りの助けとする。</p> <p>地域の発見カードを作成し、地域理解の助けとする。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>校外へ観察に行く際、学級単位で活動することが多い。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>グループで観察する機会を設ける。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>教員側からの発問や課題指示が多い。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>発表の機会を設け、児童からの課題提示や活動計画を促す。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>地域新聞作りをし、地域の様子の中で、各自が特に興味を持った事柄を深く探究し、工夫して表現する。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>資料等では体験的な理解が難しい。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>地域にある、実際に見学したり、体験できたりする教材を掘り起こす。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>作業シート等では興味の方や思考の過程を評価しにくい。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>学習のまとめ新聞等各自で工夫して取り組める課題を設定する。</p>	

<p>＜評価・修正＞</p> <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科見学など、実際の様子を見て体験することで、地域の様子の理解が深くなった。 ・社会科新聞を作成する中で、自分なりにまとめたり、課題を設定したりする力が付いた。 <p>[修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子の変化し、見学場所の確保が難しくなっている。

第3学年 理科

<実態の分析>

観点別結果の分析

- 【思考・表現】…学習課題に対する自分の考えをもっている児童が多い。
- 【技能】…植物や昆虫など、丁寧に観察し、カードにまとめることができている。
- 【知識・理解】…植物や生き物の体の特徴を理解しているが定着していない児童がいる。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
[課題設定] 教師主導で設定することが多い。不思議だな、調べてみたいなどと思えるような事象提示をしていく。	[指導] 単元の始めに児童から疑問を引き出し、それらを課題として設定していく。	[補充的な学習指導] 学習に関する教材や資料を教室内に掲示する。 ICT 機器やデジタル教材を積極的に使用する。
[学習形態] 一斉（問題確認）→個人作業→一斉（全員で観察したり実験したりことを共有）という流れで学習を進めた。問題解決的な学習展開を多く経験させていく。	[学習形態の工夫] 観察・実験したことは班や全体で共有し、お互いの考えを聞き合う時間を設ける。 問題解決型の授業を行い、問題に対しての結論を児童同士の意見の共有の中で見つけていく。	[発展的な学習指導] 学習したことを活かして物づくりをしたり、学習したことを実生活に関連付けたりしていく。
[発問・指示・板書計画] 観察・実験の視点や観点を児童が自ら考える場を多く設ける。	[発問・指示・板書の工夫] 観察・実験の際の指示は明確に、安全面に十分配慮する。 問題解決の学習の流れに沿って丁寧に進める。	[発展的な学習指導] 学習したことを活かして物づくりをしたり、学習したことを実生活に関連付けたりしていく。
[教材の活用] 学校にあるミカンの木やキャベツの苗、菜の花等、前年度に準備し、昆虫採集ができるようにする。 実際に観察が難しいものは、写真やデジタル教材等を活用する。	[教材の工夫] 各班に一匹または二人に一匹、昆虫を提供できると、より観察が丁寧になり、学びも深まると考える。 書画カメラを活用し、拡大して観察できるようにする。	[発展的な学習指導] 学習したことを活かして物づくりをしたり、学習したことを実生活に関連付けたりしていく。
[評価の方法] 観察カードやノートチェックを行っているが、ノートの書き方がまだ徹底できていない。	[評価の工夫] カードやノートの書き方を徹底して、児童がどのように思考し判断しているのか見取っていく。	[発展的な学習指導] 学習したことを活かして物づくりをしたり、学習したことを実生活に関連付けたりしていく。

<評価・修正>

[評価]

- ・学習形態を固定することにより、学習の見通しが立つようになり主体的に学習に取り組むことができた。

[修正]

- ・問題解決の過程をノートに記すことが出来るよう、わかりやすい書き方を指導していく。

第3学年 体育科

児童の実態（7月現在）

<実態の分析>

- 【技能】 …個人差や技能差はあるが、どの子どもできるようにになりたいという思いで取り組んでいる。
- 【思考判断】 …めあてをもって取り組み、振り返ることができる。前時の学習を基に、本時の具体的なめあてをもたせるためには、声かけが必要である。
- 【態度】 …意欲的に運動に取り組んでいる。全員が体育を好き、楽しいと感じている。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
[課題設定] 個人のめあてやチームのめあてを具体化させる。	[指導] 個々の課題が分かりやすいような具体的な課題提示の仕方を工夫していく。	[補充的な学習指導] 学習内容に関する補助的な運動を取り入れる。
[学習形態] 学び合いが少ないので、内容に応じて、全体指導と個別の課題解決、グループ学習を工夫する。	[学習形態の工夫] ペアやグループでの学習を積極的に取り入れ、お互いに見合い助言する時間を取り入れる。また、ゲーム領域の学習では、作戦会議のような児童が相談して活動できるようにする。	習ったことを日常も取り組めるような教材の用意などに配慮する
[指示・支援] 技能ポイントを意識した指導が十分でなかった。 発問や指示を短く分かりやすくし、安全上の配慮・指導をきちんとする。	[指示・支援の工夫] 写真や図、映像等の資料も活用する。また、一人一人に適切な支援ができるように実態を把握する。 発表ボード・作戦ボードなども適宜使う。	[発展的な学習指導] 運動が得意な児童には難しい動きや発展的な技を紹介する。 学習の最後にグループや個人での発表を取り入れ達成感をもたせる。
[教材の活用] 児童の実態、運動の特性に合った教具やルールを考える。	[教材の工夫] 運動の特性をよく理解し、教材や教具を考えていく。学習カードを活用する。	
[評価の方法] 児童の頑張りや伸び、成長を見逃さず、声をかけ、適切な評価をする。	[評価の工夫] 評価のポイントを押さえ、計画を立てて指導に当たっていく。さらに個別指導にも配慮した評価ができるように努める。	

<評価・修正>

[評価]

・Tボールやドッチボールなど、チームで行う運動をする中で、友達と協力したり、教え合ったりすることが自然にできるようになった。

[修正]

・持久力が十分ではなく、短距離以外の走る活動や、縄跳びで飛び続ける活動は得意ではない。今後、日常的に活動に取り入れていく必要がある。